

インスタント支配



東郷 潤

誰かを自分が好きなように動かしたい時、恐怖を利用した動機づけは、とっても効果的です。



おい、金を出せ！



恐怖の動機付けは、手間がかからず即効性があるのです。



契約も書類も許可も多数決も法律も、な～んにも、いりません。

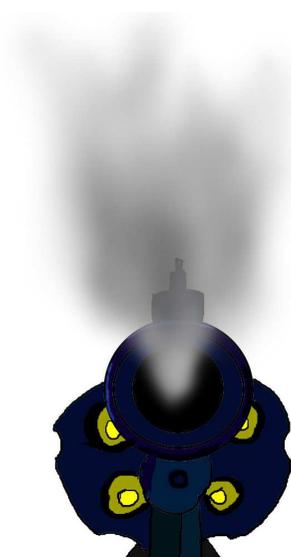


そこにあるのは、すさまじい強制力だけ!

さて恐怖は、何かしら苦痛の予想から生まれます。

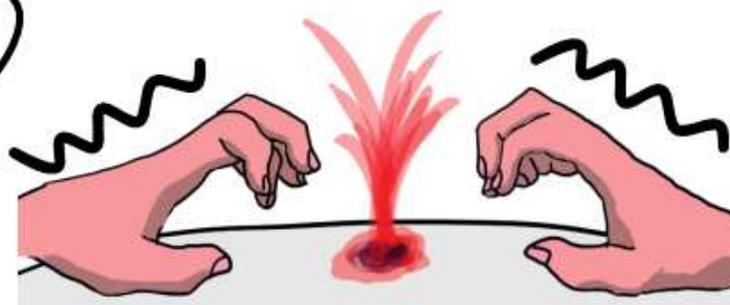


もし予想が実現したら？



それは、恐怖ではなく苦痛そのものになりますね。

あなたは今、拳銃に撃たれる恐怖を感じていますか？



ふざけるな！
俺はもう撃たれたんだよ！

つまり、恐怖で人を支配するためには、苦痛の予想だけで十分なのです。予想さえあれば、「撃つぞ」と言う必要すらありません。¹



¹絵本「銃口の前」から

たとえば相手が、その予想を信じなくたって構いません。



可能性だけで十分なのです。



当然、証明も不要です。たとえば、地獄や悪魔。死後、地獄に落ちて火に焼かれると「証明」することは難しくても、恐怖を使うのに何の支障もありません。²

悪い子は地獄行きよ！



² 元絵は、絵本「良い子にならなきゃ」より

**恐怖の動機付けで、
お金も時間も掛けずに簡単に、
人は人を支配できます。**



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。
また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2016